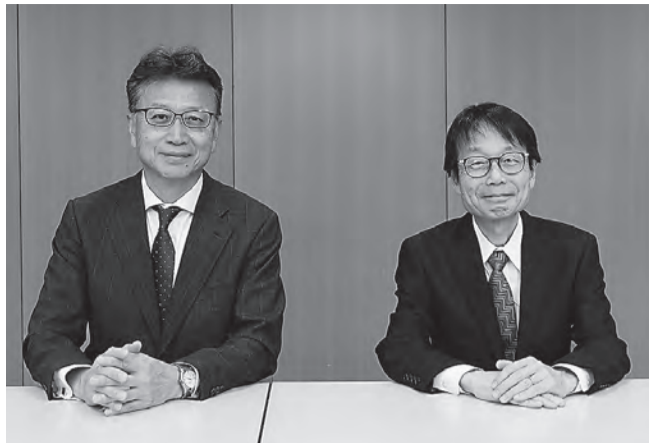


# 研究力兼ね備えた薬剤師育成

## 京都薬科大学創立140周年



左から木曾理事長と赤路学長

京都薬科大学は今年、創立140周年を迎えた。国公私立薬系大学の中でも有数の歴史と伝統を持つ大学として発展を遂げ、製薬企業や病院、薬局など各方面に幅広く多数の卒業生を輩出。伝統として受け継がれてきた『研究の京薬』も健在で、卒業生の社会での活躍を背景に、研究力を兼ね備えた質の高い薬剤師を育成する大学として、薬業界から高い信頼と評価を得てきた。今後、この強みをさらに伸ばす一方で、卒業生を含む社会人教育にも力を入れる計画だ。

京都薬大は、ドイツ人教師ルドルフ・レーマンの薫陶を受けた教員たちによって現在の京都市中京区に1884年に創立された。京都私立独逸学校が起源。その別科として開設された薬学科を廃して、1892年に私立京都薬学校を設立。1919年には同校を廃止して京都薬学専門学校が設立され、32年に京都市山科区に校舎を新築移転した。49年に学校教育法によって現在の京都薬大が設立された。

創立140年を迎えて木曾理事長は「140年の歴史と伝統を今後も紡いでいかなければならない。先輩諸氏が築き上げてきたものをどう大きく昇華できるのか。本

赤路健一学長も「140年の間、本場に様々なことがあったと思う。教育環境が大きく変わったことが何回もあった。そこを頑張って乗り越え、現在に至っている。今はまさに似たような時期で、いかに次につなげていけるのか、すごく責任を感じている」と話す。

### 研究の京薬は健在

#### 臨床系教育にも注力

性に表したものだ。この精神に基づき、サイエンス

長年、伝統として受け継がれてきた、私立大学でありながら高い研究力を持つ『研究の京薬』は今も健在だ。

木曾理事長は「他の薬系大学に比べて相当、研究に力を入れている。それが一つの特色、強み。研究もできる人材を育成するという視点で教育している私立薬系大学はそう多くはない」と話す。実際に学生が研究活動に入る時期は他大学に比べて早い。学生は3年次後期には研究室に所属し、研究を開始する。

赤路学長は「研究室に入った学生は、自分が何をしたいのか、何をしなければならぬのかを、教員と相談しながら探して取り組む。この過程が研究能力の育成につながる。基礎でも臨床でも、この研究能力は共有のもので、しっかり身につけておくと、企業でも病院でもどこに行っても融通が利く」と語る。

大学全体の研究力の高さを維持するため、各研究室には研究費を配分しているが、その額は「他

ス(科学)、アート(技術)、ヒューマニティ(人間性)をバランス良く備えた薬剤師の育成を教育目標に掲げる。

こうした人材育成を通じて、薬学をさらに前に進めようと社会に役立たいとの思いを、ブラ

大学に比べて潤沢」と赤路学長。研究を重視する大学の姿勢が、研究費の配分にも現れている。これが優秀な教員を受け入れる土壌になり、研究に

今後研究を発展させるため、「外部の力を取り込んでいくことが大事だ」と思う。その意味で産学連携や、大学間で協力する学学連携はもっと進めたい。総合大学に比べて単科大学のデメリットが指摘されるが、単科大学には他の研究機関と連携しやすいというメリットもある」と木曾理事長は強調する。

一例として昨年データサイエンス学部を開設した京都女子大学と連携して、3年次後期の学生を対象に医療統計に関するデータ解析方法、医療リ

領域の教育を開始した。データサイエンスと薬学を掛け合わせた共同研究

「社会を動かす薬学へ。」に込めた。その実現に向けて大学の

「伝統は、変革を積み上げながら引き継がれ、維持されるものだと思う」と木曾理事長は強調す

も今後進める計画だ。赤路学長も「それぞれの分野で個別に研究している」と、成果が認められ

以前、文部科学省の「私立大学研究プランディング事業」支援対象校として選定された。がんの核医学診断と核医学治療を同時に行うラジオセラノ

ほかに例えば「がん領域で幹細胞等に関する研究を、国際共同研究も含めて推進したい。創薬化学グループも参画するなど、一体的な研究領域をつくりたい。研究成果が出つつあり、頻繁に成果発表会も行われている」と赤路学長は語る。

基礎研究に強いというイメージのある京都薬大

だが、臨床系の教育にも力を入れている。その一環として今年度から、学生が5年次から6年次前期にかけて医療従事者や企業等の外部人材と連携し、臨床系の卒業研究に取り組み「実践薬学コース」を本格的に開始した。

卒業研究の一環で行う「総合薬学研究B」に、従来通り研究室での研究に

「実践薬学コース」を設定。実践薬学コースには、▽先端薬剤師▽地域・在宅医療▽医療DX▽データサイエンス▽学外共同研究の5ユニットを設けた。臨床系研究を志向する学生に心えるため、拡充に乗り出した。各ユニットの定員は5〜20人になる。

赤路学長は「実務実習を終えた後、さらに臨床現場で各施設の強みのある取り組みを実践的に深く学べるコースを設け、希望者が受講できる体制にした。この体制をさらに拡充し、それを踏まえて学内の臨床研究をアップデートしたい。例えば、これだけデータサイエンスが発展している。そこで新しい研究領域を作りたい」と語る。

6年制薬学教育に加え、大学院での教育や研究に力を入れていることも特徴だ。6年制薬学部の上に、大学院薬学研究科薬学専攻博士課程(4年制、定員10人)を設置。全国的に大学院への進学

率



### 京都薬科大学は、創立140周年を迎えました。

先人たちの築いてきた140年という伝統を今後も守り続けるとともに、創立150周年を目指し、さらなる進化を続けていきます。

社会を動かす薬学へ。  
**京都薬科大学**

〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5  
075-595-4691(代表)  
<https://www.kyoto-phu.ac.jp>



者が減少する中で、私立薬科大学でこれだけの定員数を設けている大学は少ない。しかも、定員は毎年ほぼ充足している。

### 学びやすい環境を整備

#### 高いストレート合格率

大学院には「基礎薬学」や「臨床薬学」等のコースがある。多様な医療関連分野で将来のリーダーに成り得る博士号を持った薬剤師を育成し、将来性のある研究領域の開拓に取り組む。

赤路学長は「大学院の修了者は、大学などアカデミアの教員や企業の研究職に就いたり、臨床の課題を発見し研究を実践できる人材として病院の薬剤部に就職したりするなど、多方面で活躍している。大学院に進む人をさらに増やしたい。研究者を育成できる大学は特に私立大学では限られている。本学の役割は大きい」と展望を語る。

木曾理事長は「アカデミア方面にもっと人を輩出できれば良い。本学にとっても将来の大学教育

や研究を担う人材を育て、教員として採用していただく大きなエコノミー」と強調する。

京都薬大はJ・R山科駅から徒歩10分とアクセスの良い現キャンパスで、老朽化した校舎を段階的に建て替えてきた。一連の工事は概ね完了し多くの校舎が刷新されたが、新棟の建設も予定する。

「学生がより良い環境で講義を受けられるように、新棟などで引き続き学びの環境を整備したい」と木曾理事長は言う。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてオンラインでの講義を導入したが、感染症法の5類に移行後は京都薬大でも、移行後は京都薬大でも、できるだけ対面での講義や実習を行う体制に戻し

度面談して手厚く支えることが特徴だ。履修生はeラーニングで年間20本前後の講義を視聴したり、オンライン会議システムで演習を受けたりするほか、京都薬大キャンパスに出向いて演習や講義を受ける。綿密なカリキュラムに加え、メンターのきめ細やかな支援で、論文を読む力や論文検索方法、研究実践に欠かせない統計の知識等を修得できる。

### 生涯教育で研究実施支援



薬局や病院で働く薬剤師らがeラーニングプログラムで研鑽を積んでいる

多くの専門・認定薬剤師の資格を取得したいが職場に指導者がいない中小病院や成の二環として従業員の履修を後押ししている。4年間の取り組みで、履修生が専門や認定の資格を取得するなどの成果が目に見える形で現れ始めた。

赤路学長は「社会人として多忙な日々を送る中で、大学院に行くというハードルは高い。それでも学びたいという意欲はある。その

間の薬師が履修するほか、チェーン薬局が人材育成の二環として従業員の履修を後押ししている。4年間の取り組みで、履修生が専門や認定の資格を取得するなどの成果が目に見える形で現れ始めた。

赤路学長は「社会人として多忙な日々を送る中で、大学院に行くというハードルは高い。それでも学びたいという意欲はある。その

間の薬師が履修するほか、チェーン薬局が人材育成の二環として従業員の履修を後押ししている。4年間の取り組みで、履修生が専門や認定の資格を取得するなどの成果が目に見える形で現れ始めた。

の薬科大学に比べて、製薬企業やCROなど企業へ就職する割合が高い。木曾理事長は「企業の方に聞くと、京都薬大の卒業生は真面目で優秀だと高く評価いただいている。一度採用すると毎年、継続して採用している。企業も少ない。企業に就職した先輩が活躍し評価を得ることで、うまくサイクルが回っている」と話す。

教育や研究の質の高さに加えて、国試合格者の高さが多様な就職先も受ける。少子化が進み、各薬科大学が志願者確保に難渋する中、京都薬大の入学志願者は安定して推移している。入試の多様化を進めており、来春の入試ではB方式を前期と後期に分けて、共通テストの結果が思わしくなかった受験生でも挽回できる機会を設けた。

少子化で薬科大学の将来を危ぶむ声も聞かれる中、赤路学長は「社会から求められる薬剤師像がある。ニーズに応じた薬剤師を育成し続けていけば、自然と選ばれる大学になる。社会の様々な場面で新たな状況に対応できる薬剤師や、研究の素養のある薬剤師を毎年これだけの数、輩出していくことで、自ずと評価は得られると思う」と揺るがない姿勢を見せる。

木曾理事長は「今後、病気の予防や重症化予防がさらに重要になる。医療機関の中で健康な人と病気の人のどちらかが訪れるのが薬局で、そこで疾病の予防や重症化予防に関わる薬剤師の役割は大きい」と述べ、社会のニーズは引き続き大きくあると見通す。

木曾理事長は「卒業生の多さや、様々なところで卒業生が活躍している本学の強みを活かしたい。そのネットワークを生かして何ができるかをしっかりと詰めていきたい」と語る。

木曾理事長は「卒業生の多さや、様々なところで卒業生が活躍している本学の強みを活かしたい。そのネットワークを生かして何ができるかをしっかりと詰めていきたい」と語る。

木曾理事長は「卒業生の多さや、様々なところで卒業生が活躍している本学の強みを活かしたい。そのネットワークを生かして何ができるかをしっかりと詰めていきたい」と語る。

木曾理事長は「卒業生の多さや、様々なところで卒業生が活躍している本学の強みを活かしたい。そのネットワークを生かして何ができるかをしっかりと詰めていきたい」と語る。

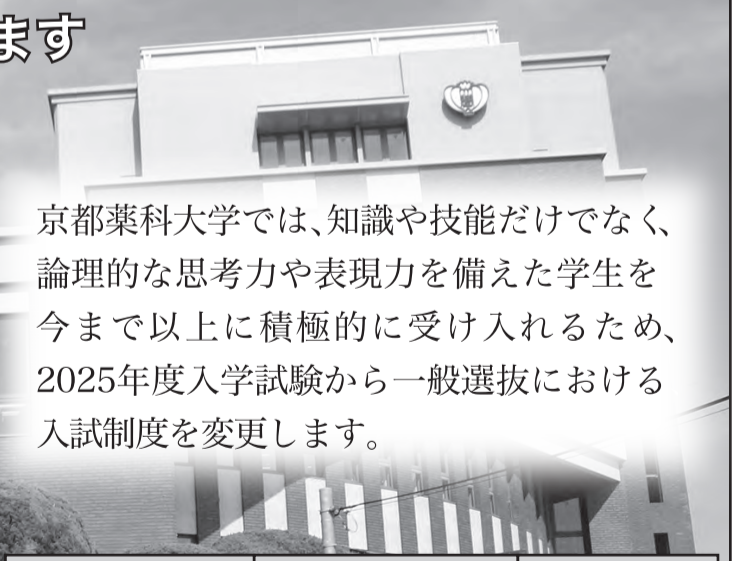
木曾理事長は「卒業生の多さや、様々なところで卒業生が活躍している本学の強みを活かしたい。そのネットワークを生かして何ができるかをしっかりと詰めていきたい」と語る。

## 2025年度より新入試制度を導入します

2025年度一般選抜入試(下線部が変更箇所)

現在の名称	選抜方式	変更後の名称	予定募集人員	教科	科目
A方式	共通テスト利用前期*	共通テスト利用前期*	45	国語	国語(近代以降の文章のみ)
				数学	数学①(「数学Ⅰ、数学A」)、 数学②(「数学Ⅱ、数学B、数学C」)
				理科	化学(必須)、物理・生物から1科目選択
				外国語	英語(「リーディング」と「リスニング」)
C方式	共通テスト利用後期*	共通テスト利用後期*	5	数学	数学①(「数学Ⅰ、数学A」)、 数学②(「数学Ⅱ、数学B、数学C」)
				理科	化学
B方式	一般選抜前期(3教科型)	一般選抜前期(3教科型)	150	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、統計的な推測)、 数学C(ベクトル)
				理科	化学基礎、化学
				外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ)
新規	一般選抜後期(2教科型)	一般選抜後期(2教科型)	20	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、統計的な推測)、 数学C(ベクトル)
				理科	化学基礎、化学
				外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ)

\*科目名については大学入学共通テストの実施科目名を表示



京都薬科大学では、知識や技能だけでなく、論理的な思考力や表現力を備えた学生を今まで以上に積極的に受け入れるため、2025年度入学試験から一般選抜における入試制度を変更します。

入試方式	試験日	合格発表
共通テスト利用 前期	2025年1月18日(土)・19日(日)	2025年2月14日(金)
共通テスト利用 後期	2025年1月18日(土)・19日(日)	2025年3月14日(金)
一般選抜前期(3教科型)	2025年2月3日(月)	2025年2月14日(金)
一般選抜後期(2教科型)	2025年2月20日(木)	2025年3月5日(水)

社会を動かす薬学へ。

〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5

075-595-4691(代表)



京都薬科大学

https://www.kyoto-phu.ac.jp